



GLOBAL-DINING INC.

2011年12月期 決算報告
February 16th, 2012

2011年12月期
決算報告

Contents

2011年12月期 通期 決算報告

. 業績サマリー

- ・ 損益計算書の概要(連結) 5
- ・ 貸借対照表の概要(連結) 6
- ・ キャッシュ・フローの概要(連結) 7
- ・ 過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結) 8

. 予算サマリー

- ・ 2012年12月期 通期計画(連結) 10

. 2011年の振返り

- ・ 国内事業 実績と取組み ~ 12
- ・ ラ・ボエム & ゼスト 14
- ・ モンスーン & 権八 15
- ・ フードコロシウム & デイナーレストラン 16
- ・ エリア別実績 17
- ・ 海外事業 実績と取組み 18

- ・ 2012年の取り組み 21

参考資料

- ・ 会社別実績概要 23
- ・ 会社別予算概要 24
- ・ 損益計算書概要(国内) 25
- ・ 四半期毎コンセプト別実績(国内) 26
- ・ 月次売上高 前年同期比推移(国内) 29
- ・ 客数と客単価の前年同期比推移(国内) 30
- ・ 損益計算書概要 - 連結子会社(米国) 31
- ・ 2011年12月期 通期 赤字店舗一覧 32

.業績サマリー

損益計算書の概要(連結)

	2011年12月期 通期						2010年12月期 通期			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	11,922	100.0%	11,821	100.0%	101	0.9%	13,746	100.0%	(1,824)	-13.3%
営業利益	(143)	-1.2%	(196)	-1.7%	53	-	(72)	-0.5%	(71)	-
経常利益	(168)	-1.4%	(221)	-1.9%	53	-	(125)	-0.9%	(43)	-
当期純利益	(391)	-3.3%	(404)	-3.4%	13	-	(672)	-4.9%	281	-
1株当たり 当期純利益	38円96銭		40円22銭				66円98銭			

(金額の単位:百万円)

期中平均株数(単位:千株)

12/31/2010: 10,044

12/31/2011: 10,044

為替レート

JPY/USD 81.49 JPY/HKD 10.80 HKD/MOP: 1.03 (全期間)

JPY/USD 77.74

【売上】

- ・ 国内は売上減 震災の影響を受けた3月は全店合計で 45.1% 累計値では前年比:既存店 13.1% 全店 13.9%
- ・ 米国は売上減 ラボエム・権八都ホテルトランスでは売上若干増加したが、全体では減少
- ・ 前年比(USドルベース):全店(=既存店) 1.9%

【コスト】

- ・ 国内では調達コスト削減やピュッフェからの脱却により材料費率は0.6ポイント改善 また、売上減の環境下における各店舗での最低人員の配置により労務費率が悪化、同様に賃料も減額しているものの固定賃料の負荷などにより経費率も悪化
- ・ 米国では売上減の環境下で労務費・経費を抑え損失を最小限にした

【その他】

- ・ スtock・オプション償却により新株予約権戻入益45百万円を特別利益として計上
- ・ 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額135百万円、3月震災に伴う特別損失を25百万円をそれぞれ特別損失に計上
- ・ 当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産44百万円を取崩
- ・ 退店に伴い国内店舗閉鎖損失12百万円および減損損失33百万円をそれぞれ特別損失として計上

貸借対照表の概要(連結)

	2011年12月期 期末		2010年12月期 期末		増減	
流動資産	1,190	14.7%	1,414	16.2%	(223)	-15.8%
現預金	428		593		(165)	
売掛金	412		416		(4)	
原材料及び貯蔵品	215		221		(6)	
前払費用	121		117		3	
その他	13		64		(51)	
固定資産	6,899	85.3%	7,301	83.8%	(401)	-5.5%
有形固定資産	5,214	64.5%	5,542	63.6%	(328)	-5.9%
建物・構築物	2,240		2,465		(225)	
工具器具	149		202		(53)	
リース資産	18		18		0	
土地	2,804		2,847		(43)	
建設仮勘定	0		7		(6)	
無形固定資産	38	0.5%	48	0.6%	(10)	-21.2%
投資その他の資産	1,647	20.4%	1,710	19.6%	(63)	-3.7%
投資有価証券	6		8		(2)	
長期前払費用	23		34		(10)	
差入保証金	1,617		1,667		(50)	
総資産	8,090	100.0%	8,715	100.0%	(625)	-7.2%

	2011年12月期 期末		2010年12月期 期末		増減	
流動負債	2,246	27.8%	2,729	31.3%	(483)	-17.7%
買掛金	510		534		(23)	
短期借入金	261		470		(208)	
1年以内返済予定 長期借入金	518		775		(256)	
未払金	151		154		(3)	
未払費用	552		584		(31)	
未払法人税等	33		24		9	
店舗閉鎖損失引当金	9		-		9	
資産除去債務	27		-		27	
その他	180		186		(5)	
固定負債	1,963	24.3%	1,609	18.5%	353	22.0%
社債	690		-		690	
長期借入金	971		1,548		(576)	
資産除去債務(固 その他	265		-		265	
その他	36		61		(24)	
純資産	3,880	48.0%	4,376	50.2%	(495)	-11.3%
資本金	1,472		1,472		0	
資本剰余金	2,127		2,127		0	
利益剰余金	861		1,252		(391)	
為替換算調整勘定	(576)		(520)		(55)	
その他	3		45		(48)	
負債・純資産合計	8,090	100.0%	8,715	100.0%	(625)	-7.2%

(単位:百万円)

- 閉店した「ゼストキャンティーナ広尾」、閉店が決定した「カフェラボエム港北」「ゼストキャンティーナ飯倉」において減損損失22百万円を計上。西麻布、南青山、骨董通りのラボエムの3店舗においても減損損失10百万円を計上したこと等により、固定資産が減少。
- 借入金は震災発生時に3ヶ月のリスケを実行したが以降はスケジュールどおりに返済。
- 固定負債は社債690百万円を発行。資産除去債務265百万円が増加。
- 当期の業績や為替の影響等を踏まえた結果、純資産は495百万円減少。

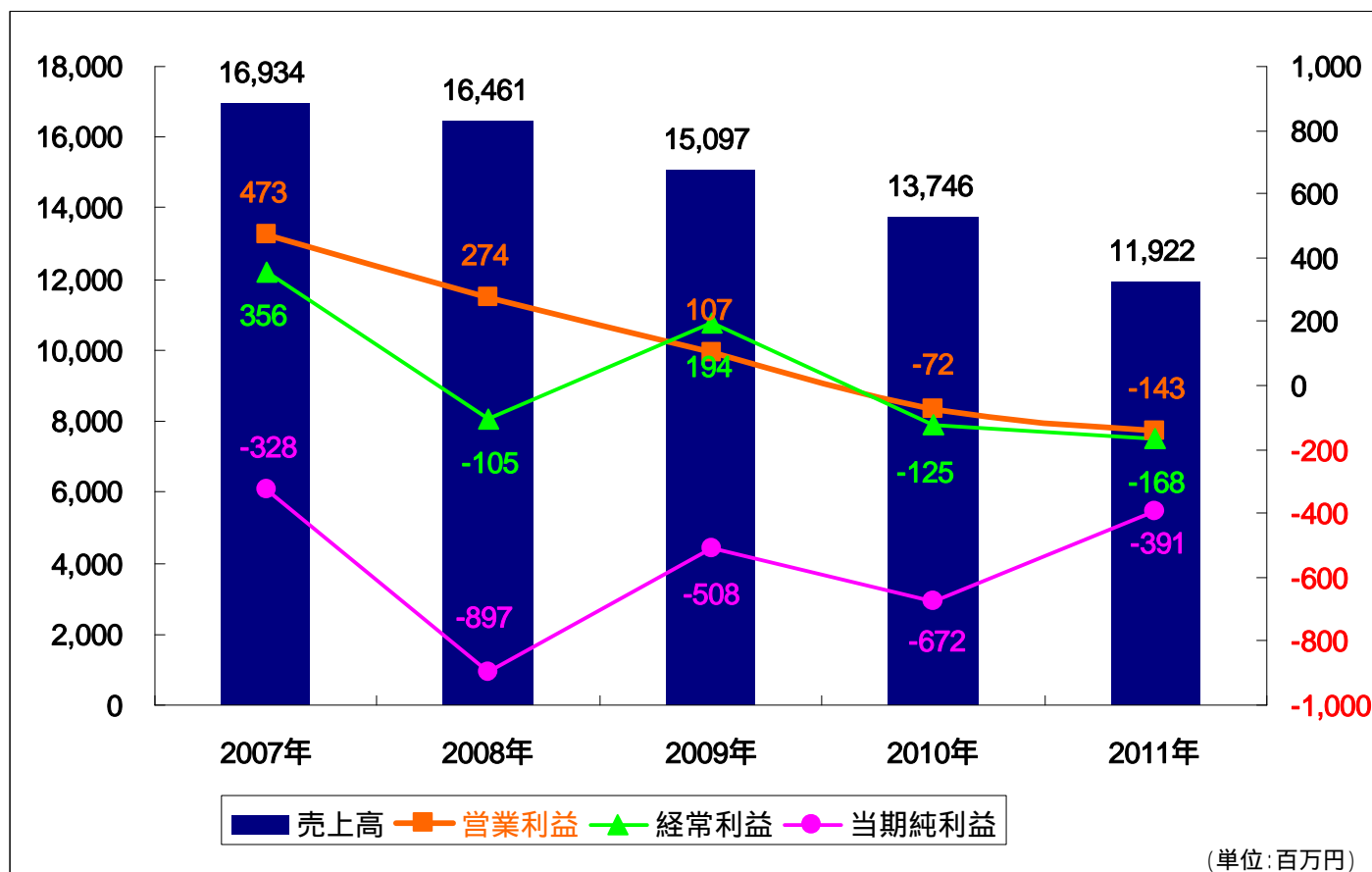
キャッシュ・フローの概要(連結)

	2011年12月期 通期	2010年12月期 通期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	175	380	(205)
税金等調整前当期純損失	(328)	(406)	77
減価償却費	423	508	(84)
為替差損益	8	46	(38)
減損損失	33	50	(16)
事業整理損	-	177	(177)
利息の支払額	(44)	(48)	4
法人税等の支払額	(8)	(64)	55
その他	91	116	(25)
投資活動によるキャッシュ・フロー	16	195	(178)
定期預金の預入による支出	-	(10)	10
定期預金の払戻による収入	-	60	(60)
有形固定資産の取得による支出	(27)	(41)	13
保証金の回収による収入	49	-	49
事業整理による収入	-	131	(131)
その他	(4)	55	(60)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(357)	(571)	214
短期借入金の増減額	(208)	(42)	(166)
長期借入れによる収入	600	587	12
長期借入金の返済による支出	(1,432)	(1,111)	(321)
社債の発行による収入	689	-	689
その他	(6)	(5)	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	(2)	2
現金及び現金同等物の増減額	(165)	1	(166)
現金及び現金同等物の期首残高	593	592	1
現金及び現金同等物の期末残高	428	593	(165)

(単位:百万円)

- 営業活動によるキャッシュ・フローは震災の影響が濃く、前年比 205百万円の175百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フローは借入金を社債に振替えたため、支出と収入の出し入れが発生。
- 現金及び現金同等物の残高は昨年より若干減少し428百万円

過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結)



- 売上高、営業利益、共に07年以来減少が続く。
- 09年に実行したデットエクイティスワップによる為替差益の計上により、09年は一時的に経常利益を大きく計上。
- 当期純利益は減損損失、店舗閉鎖損失、マカオ事業の精算、震災の影響、繰延税金資産の取崩などにより、07年以来マイナスが続く。

. 予算サマリー

2011年12月期 通期計画(連結)

	2012年12月期 通期計画		2011年12月期 通期実績			
		構成比		構成比	差異	
売上高	11,911	100.0%	11,922	100.0%	(12)	-0.1%
営業利益	108	0.9%	(143)	-1.2%	251	-
経常利益	99	0.8%	(168)	-1.4%	267	-
当期純利益	59	0.5%	(391)	-3.3%	450	-
1株当たり 当期純利益	5円89銭		38円96銭			

(金額の単位:百万円)

想定為替レートJPY/USD=77.74

【売上高】

- ・ 国内:前年比 2010年度比 10%
- ・ 米国:前年比 3.4% (USドルベース)
- ・ 不採算店舗の閉鎖によっても売上高は減少するが、収益性の改善を図る。

【コスト】

- ・ 国内:震災以降のコスト最適化トレンドは2012年も継続。固定費、減価償却費は減少傾向。
- ・ 米国:権ハトランスの体質改善や材料費率等の改善や権ハビバリーヒルズの休止により損益は改善する見込み。

【その他】

- ・ 恵比寿ゼストの営業継続が不確実のため計画から除外して策定。
- ・ 権ハビバリーヒルズの営業を一部休止及び営業形態を変更。

. 2011年の振り返り

国内事業 実績と取組み



売上高 11,314百万円
 前年対比額 1,738百万円
 前年対比率 - 13.3%

営業利益 58百万円
 前年対比額 165百万円
 営業利益率 - 0.5%

● 組織力の強化

- CEOが営業部門を直轄し、リーダー層を直接指導
- 営業部門リーダー層の現場力アップ
- コーポレートシェフの設置による全社キッチンの品質統一と収益性強化
- 本社管理部門の統括役員設置による本部機能の強化
- 商品企画室の設置

● メニュー・商品力の強化

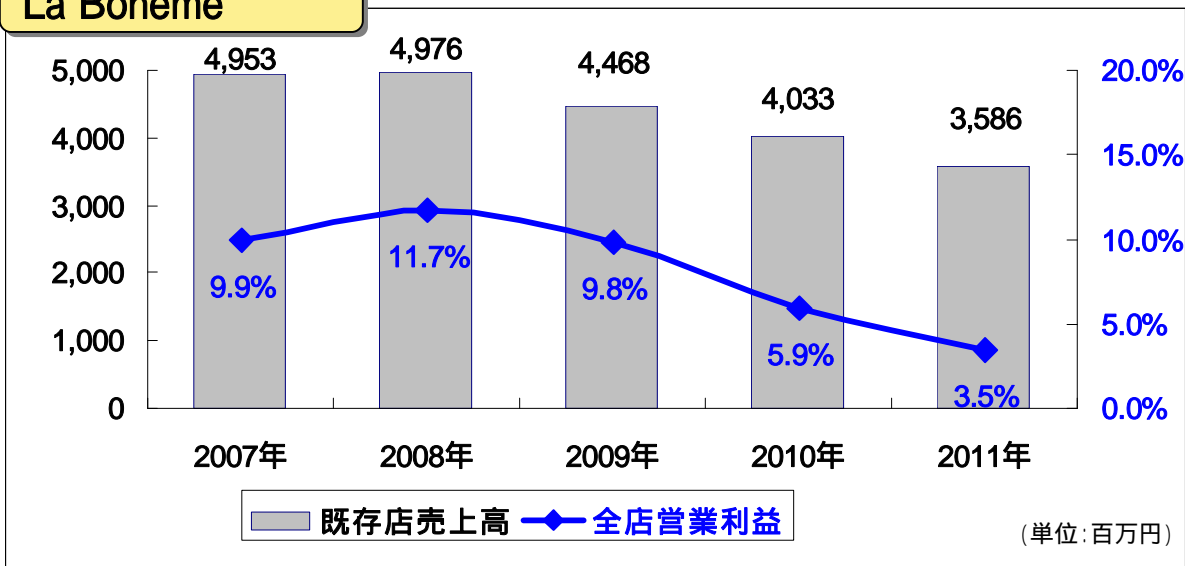
- 既存メニューの定期的な捩入れと高品質・低価格な新規メニューの開発
- 産直品の取引品目と、業態間での食材共有の拡大による原価改善
- 主要4業態への魅力的なワインリストの導入
- 年末恒例ドンペリニオンフェスティバル実施

● 不採算店舗の閉鎖と家賃交渉の継続

- ゼストキャンティーナ広尾4月閉店
- 不動産オーナー様のご理解の下、激震以降の経済状況に対応

国内コンセプト別 売上・営業利益の推移 -ラ・ボエム & ゼスト-

La Boheme

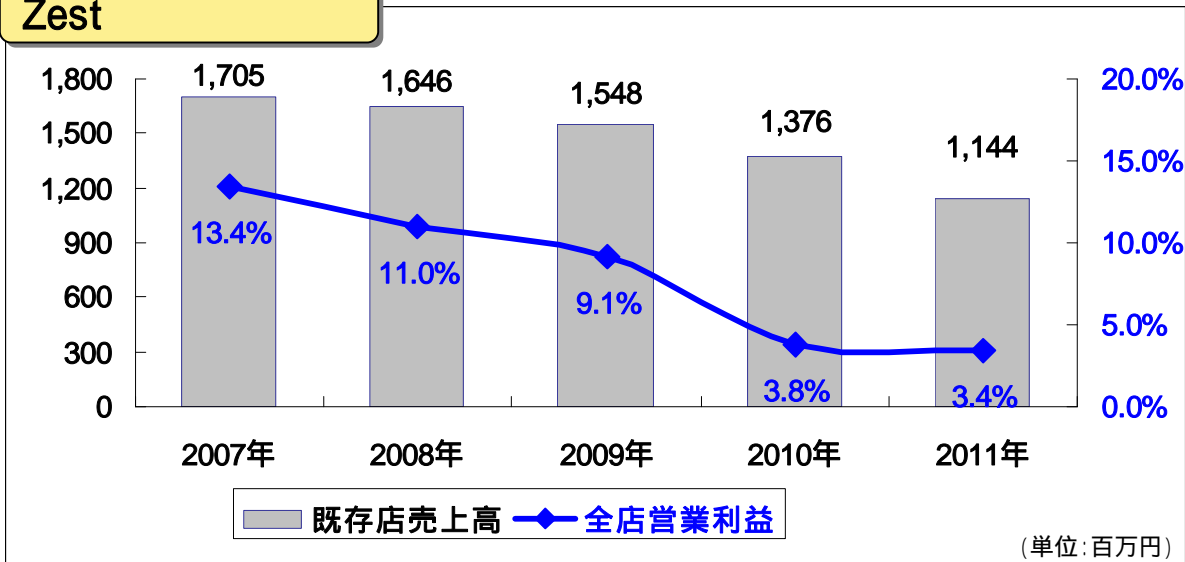


【前年対比】

既存店売上 -11.1%
 原材料 0.6ポイント改善
 労務費 1.6ポイント悪化

上期は震災影響による売上減が大きかったが、産直野菜の取引拡大や店舗での手作り商品を増やすことによって顧客満足度の向上と原価改善を実現。下期はグランドメニューとワインメニューの改訂を行い、高品質かつ低価格でお値打ち感のある商品開発に取り組むとともに、カフェメニューの高品質化にも着手し、顧客満足度向上に努めた。

Zest



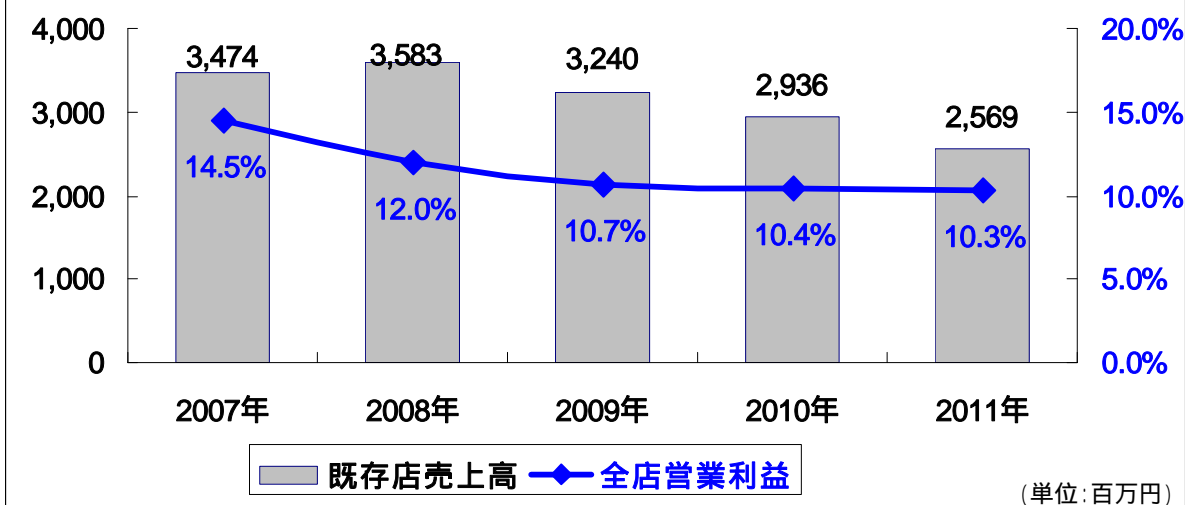
【前年対比】

既存店売上 -16.9%
 原材料 1.8ポイント改善
 労務費 0.9ポイント悪化

震災影響以外に広尾ゼストの閉店による売上減。また前年のサッカーワールドカップ関連イベントに見合う大型店舗での売上が確保できなかったことでの売上減もあった。グランドメニュー改訂に伴いレシピの精査と商品を入れ替えたため、原価は改善。震災以降はメニューの更なるブラッシュアップと産直野菜導入を開始し、女性にも愛されるメニュー作りに注力。売上回復につなげた。

国内コンセプト別 売上・営業利益の推移 - モンスーンカフェ & 権八 -

Monsoon Cafe



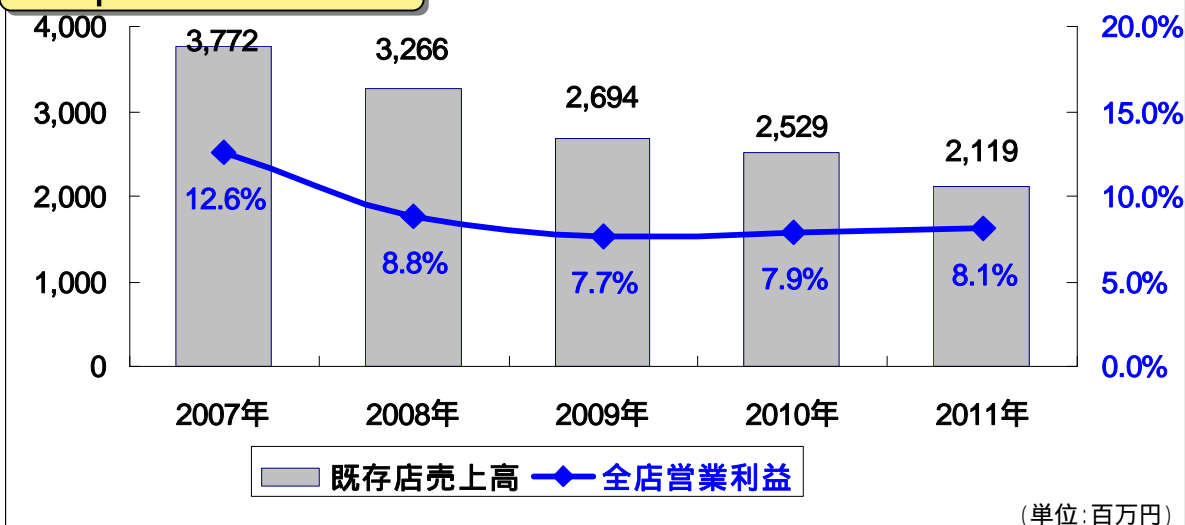
【前年対比】

既存店売上 -12.5%
 原材料 0.9ポイント改善
 労務費 0.6ポイント悪化

上期は震災により大きく売上減。特に舞浜、船橋、お台場などの湾岸地区は被害が大きく、施設の休止などにより営業再開まで長引いた為、売上、利益減に大きく影響した。

しかし、産直品の品目、取扱量の増加などにより高品質低価格の原材料調達を実現し、原価を改善。さらに人件費・ロス管理の徹底により利益確保に努めた。震災以降は産直品を使ったフェアやメニュー変更により売上回復につなげた。

Gonpachi



【前年対比】

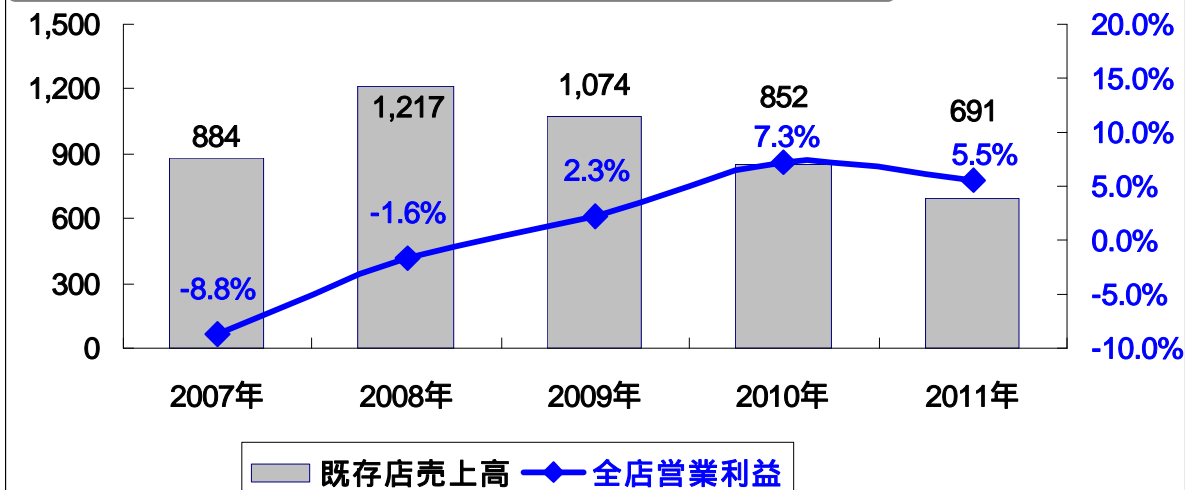
既存店売上 -16.2%
 原材料 1.2ポイント改善
 労務費 前年同等

震災により大きく売上減。主要顧客層である外国人居住者や観光客が激減し、震災以降も厳しい状況が続いたが、下期に入り徐々に回復。すべての原材料を見直し仕入価格を改善したことで原価を中心としたコスト管理を徹底。オペレーションの見直しや合理化等により労務費の改善にも努め、利益の確保につなげた。

下期はメニュー改訂などで、よりお値打ち感のある商品の提供を実現し、売上回復に努めた。

国内コンセプト別 売上・営業利益の推移 -フードコロシウム&ディナーレストラン-

Food Colosseum & Zest Premium Burger

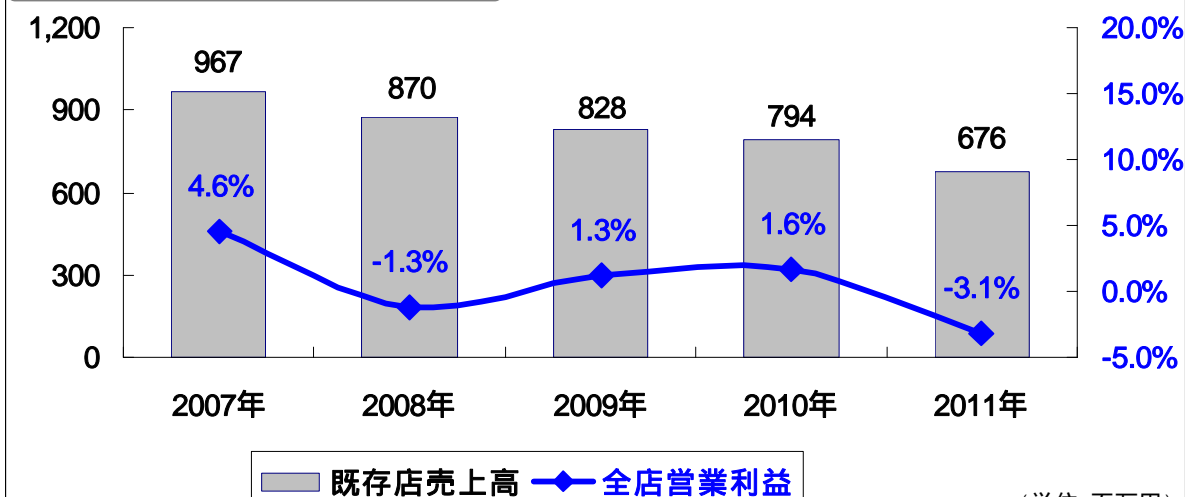


(単位:百万円)

【前年対比】
 既存店売上 -18.9%
 原材料 0.2ポイント改善
 労務費 0.8ポイント悪化

震災影響以外に、沖縄は施設へのツアー客の減少、那須は震災後の原発事故や高速道路有料化などの影響により売上減。理論原価分析による、商品変更、Aランク商品の見直しにより原価は改善。下期は低単価商品の導入や各種イベント企画により集客増、観光地での閑散期対策は地元客に合わせた家族メニュー、割引特典を導入し売上回復に努めた。

Dinner Restaurants



(単位:百万円)

【前年対比】
 既存店売上 -14.9%
 原材料 0.9ポイント改善
 労務費 0.3ポイント悪化

震災影響により高価格帯レストランの利用が自粛傾向にあり、売上減。夏場の計画停電が危惧され、第三四半期の婚礼・パーティ売上減を見込み、夏季特別キャンペーンを導入するなど、売上回復に対処。下期は営業スタイルの見直し、人材の入れ替え、プロモーション強化等により売上向上を目指すも、来期に向けて引き続き注力が必要。

2011年通期 エリア別実績

	銀座		恵比寿・自由が丘・代官山		渋谷・茶屋町		西麻布・表参道		田園都市	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高計	1,135,833		1,346,831		1,855,083		1,224,480		1,208,429	
前年売上高計	1,264,460		1,501,874		2,034,772		1,493,437		1,362,128	
売上前年比	-10.17%		-10.32%		-8.83%		-18.01%		-11.28%	
材料費計	322,104	28.4%	356,475	26.5%	514,583	27.7%	346,689	28.3%	337,598	27.9%
労務費	352,858	31.1%	433,790	32.2%	555,809	30.0%	397,226	32.4%	376,802	31.2%
経費	153,667	13.5%	155,669	11.6%	190,710	10.3%	134,959	11.0%	130,751	10.8%
限界利益	307,204	27.0%	400,898	29.8%	593,981	32.0%	345,607	28.2%	363,278	30.1%
営業利益	37,821	3.3%	115,921	8.6%	176,416	9.5%	90,394	7.4%	65,937	5.5%
期末店舗数	6		8		9		9		8	

	福岡・FC		六本木・白金		湾岸		その他	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高計	968,110		1,053,302		1,712,909		795,690	
前年売上高計	1,189,895		1,234,519		1,995,004		823,116	
売上前年比	-18.64%		-14.68%		-14.14%		-3.33%	
材料費計	275,587	28.5%	292,138	27.7%	461,650	27.0%	352,085	44.2%
労務費	280,730	29.0%	345,845	32.8%	484,257	28.3%	165,301	20.8%
経費	156,525	16.2%	135,826	12.9%	216,368	12.6%	125,171	15.7%
限界利益	255,268	26.4%	279,494	26.5%	550,633	32.1%	153,134	19.2%
営業利益	38,057	3.9%	84,010	8.0%	157,427	9.2%	46,728	5.9%
期末店舗数	7		7		6		5	

その他は、ウェディング部門とデザート部門、タブローズ・タブローズラウンジの合計値であり、ウェディング部門の営業所を店舗数及び売上比較に含んでおります。

Global-Dining Inc. of California (米国子会社)

売上高	7,880千ドル
前年対比額	88千ドル
前年対比率	- 1.10%

営業利益	1,043千ドル
前年対比額	+ 397千ドル
営業利益率	- 13.2%

● 2011年取組み

- 現地統括責任者を設置し、業務改善スピード強化

. 2012年の取組み

● 組織力の強化

- 営業部門リーダー層のフェアな競争による現場力強化を継続
- 本社管理部門再編により組織力と業務効率の向上

● メニュー・商品力の強化

- 高品質・低価格な新規メニューの開発継続
- 原材料品見直しと産地直接交渉による購買力強化
- 主要4業態への魅力的なワインリストの導入継続と進化
- 社内コンテスト実施により商品開発能力の高い人材を積極的に発掘

● 営業力向上

- コンセプトのビジネスモデルをブラッシュアップ
- ウェディングスクール開校および外部ウェディングプロデュース開始
- PR・販促施策導入による店舗認知度および集客力の向上

● 不採算店舗の閉鎖

- ゼストキャンティナー飯倉 1月14日、カフェ ラ・ボエム港北 1月31日閉店

● 海外子会社(GDC)の業務改善

- Gonpachi Beverly Hillsの一般営業休止による営業赤字縮小

2012年の取組み

- その他
 - － ゼストキャンティーナ恵比寿について

參考資料

会社別実績概要

国内	2011年12月期 通期						2010年12月期 通期			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	11,314	100.0%	11,207	100.0%	107	1.0%	13,051	100.0%	(1,737)	-13.3%
営業利益	(58)	-0.5%	(107)	-1.0%	49	-	106	0.8%	(164)	-
経常利益	(74)	-0.7%	(127)	-1.1%	52	-	95	0.7%	(169)	-
当期純利益	(297)	-2.6%	(310)	-2.8%	12	-	(812)	-	515	-

(単位:百万円)

米国	2011年12月期 通期						2010年12月期 通期			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	607	100.0%	614	100.0%	(6)	-1.0%	649	100.0%	(42)	-6.4%
営業利益	(85)	-14.1%	(89)	-14.6%	3	-	(117)	-	32	-
経常利益	(93)	-15.4%	(93)	-15.3%	0	-	(123)	-	30	-
当期純利益	(93)	-15.4%	(93)	-15.3%	0	-	(123)	-	30	-

(単位:百万円)

上記数値は連結修正前の会社別数値になります

会社別予算概要

国内	2012年12月期	通期計画
		構成比
売上高	11,323	100.0%
営業利益	145	1.3%
経常利益	132	1.2%
当期純利益	92	0.8%

2011年12月期 通期実績			
	構成比	差異	
11,314	100.0%	9	0.1%
(58)	-0.5%	203	-
(74)	-0.7%	207	-
(297)	-2.6%	390	-

(単位:百万円)

米国	2012年12月期	通期計画
		構成比
売上高	587	100.0%
営業利益	(37)	-6.4%
経常利益	(33)	-5.7%
当期純利益	(33)	-5.7%

2011年12月期 通期実績			
	構成比	差異	
607	100.0%	(20)	-3.4%
(85)	-14.1%	48	-
(93)	-15.4%	60	-
(93)	-15.4%	60	-

(単位:百万円)

想定為替レート: JPY/USD=77.74

各数値は連結修正前の会社別数値になります

損益計算書概要 - 国内

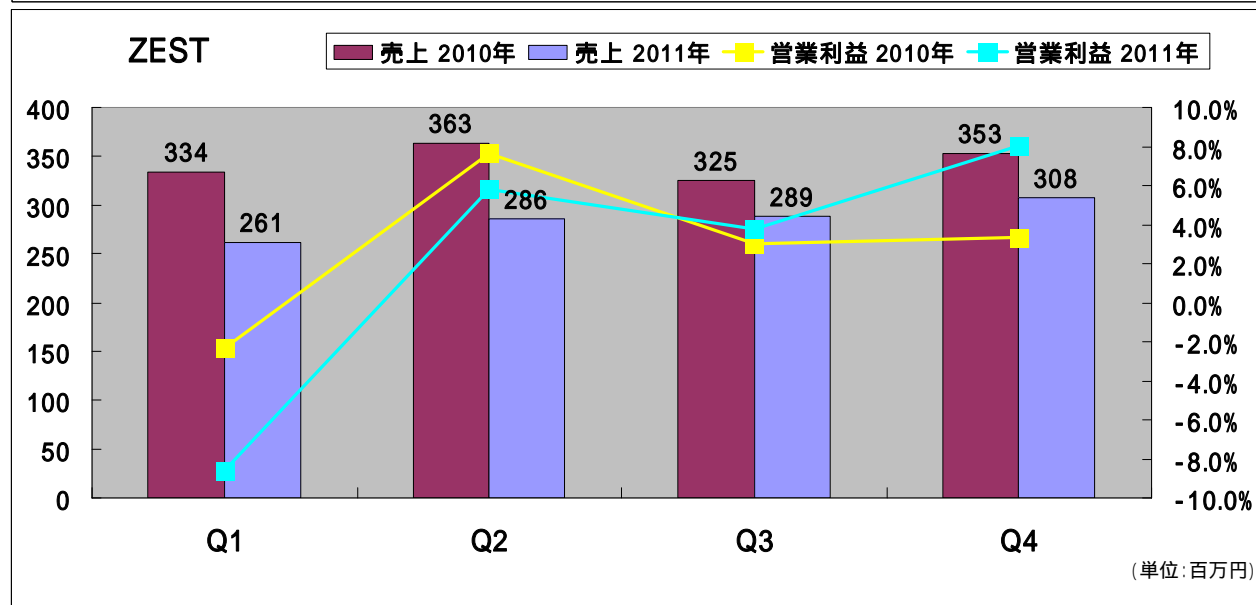
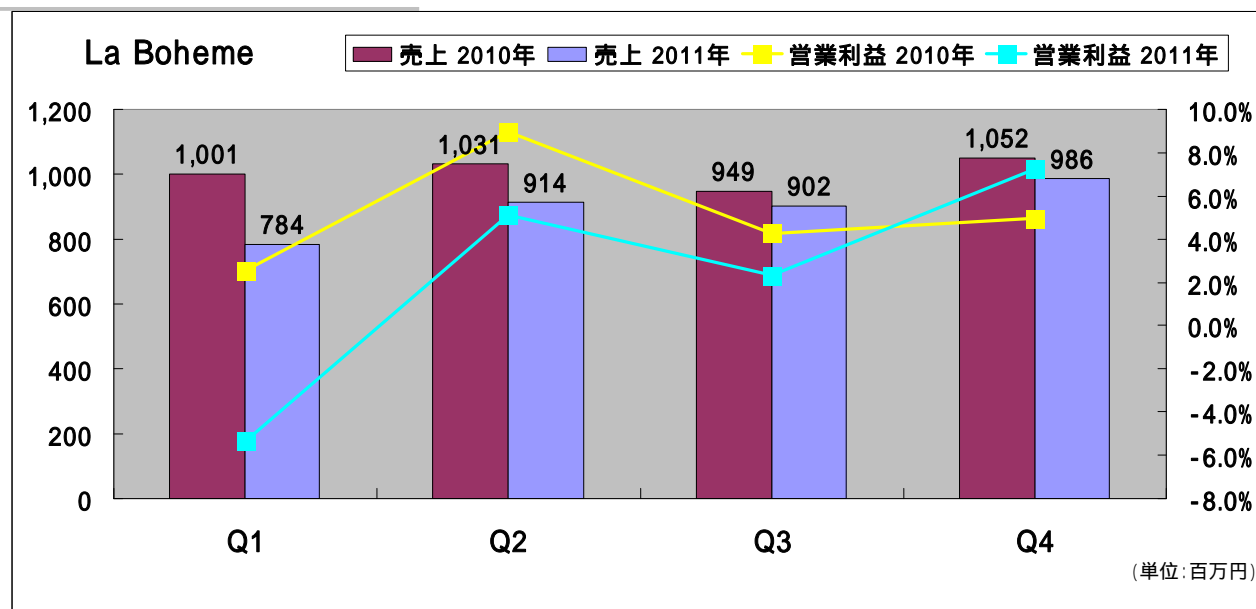
2011年12月期	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	フード コロシウム	ディナー レストラン	その他*	本部 その他
売上高	11,314	3,586	1,144	2,569	2,119	691	676	530	
前年比	-13.3%	-11.1%	-16.9%	-12.5%	-16.2%	-18.9%	-14.9%	-0.5%	
売上原価	10,465	3,389	1,079	2,261	1,906	637	685	462	46
売上総利益	849	197	65	308	213	54	(9)	68	(46)
販管費	908	73	26	44	42	15	12	22	675
営業利益	(58)	124	39	265	171	40	(21)	46	(721)
営業利益率	-0.5%	3.5%	3.4%	10.3%	8.1%	5.7%	-3.1%	8.7%	
期末店舗数	60	23	7	12	7	4	4	3	

2010年12月期	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	フード コロシウム	ディナー レストラン	その他*	本部 その他
売上高	13,052	4,033	1,376	2,936	2,529	852	794	533	
売上原価	11,914	3,726	1,297	2,577	2,272	774	774	509	(14)
売上総利益	1,137	307	79	360	257	78	19	23	14
販管費	1,031	68	27	55	56	16	6	17	784
営業利益	107	239	52	305	201	62	13	6	(770)
営業利益率	0.8%	5.9%	3.8%	10.4%	7.9%	7.3%	1.6%	1.1%	
期末店舗数	61	23	8	12	7	4	4	3	

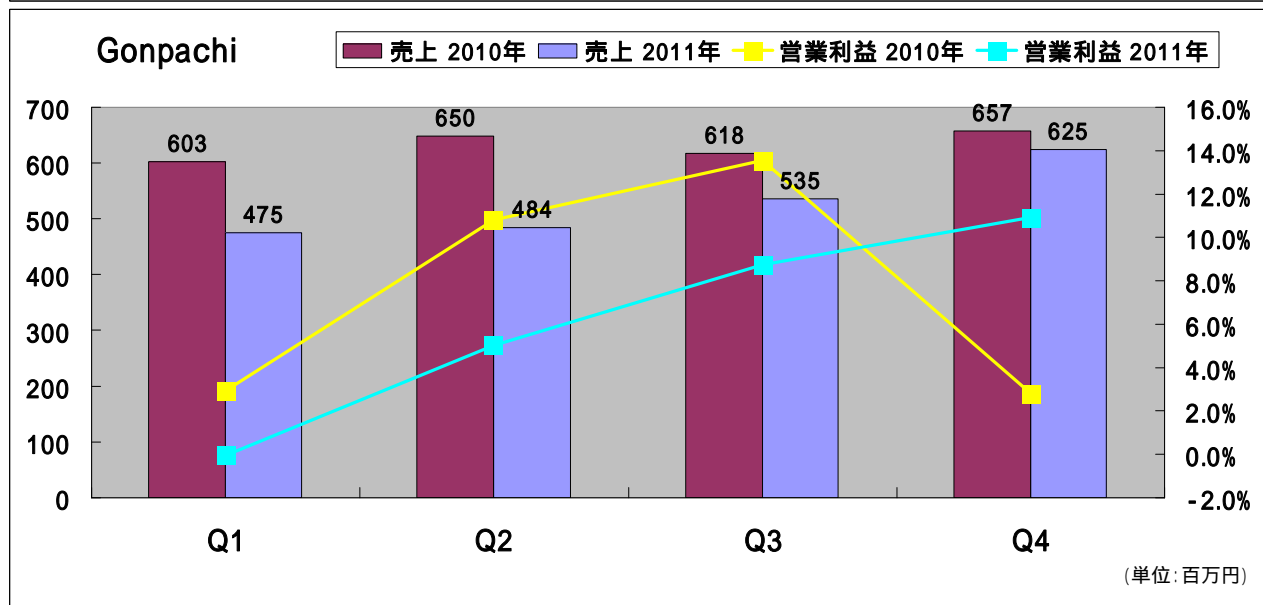
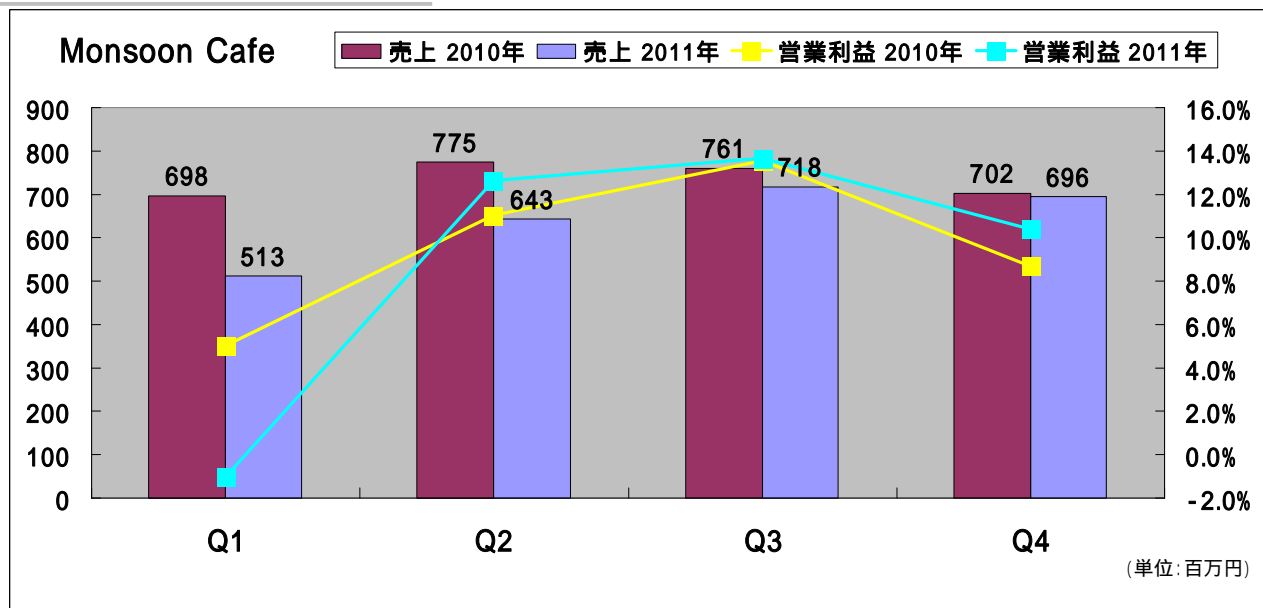
その他は、ウェディング部門とデザート部門の合計値であり、ウェディング部門の営業所を店舗数及び売上比較に含んでおります。

(単位:百万円)

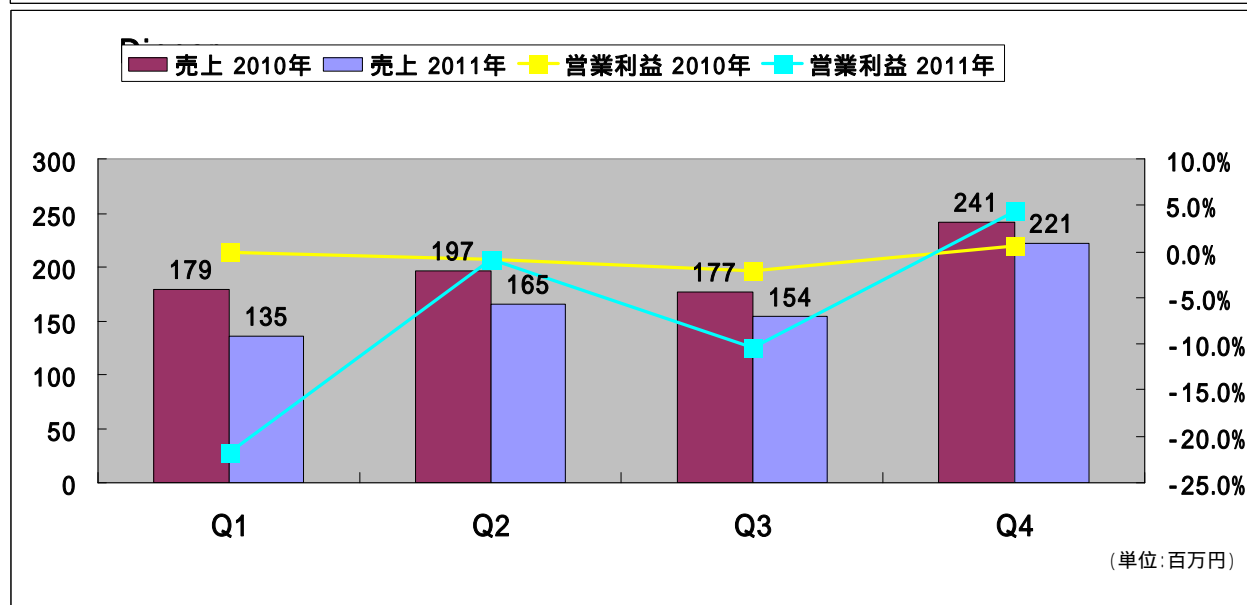
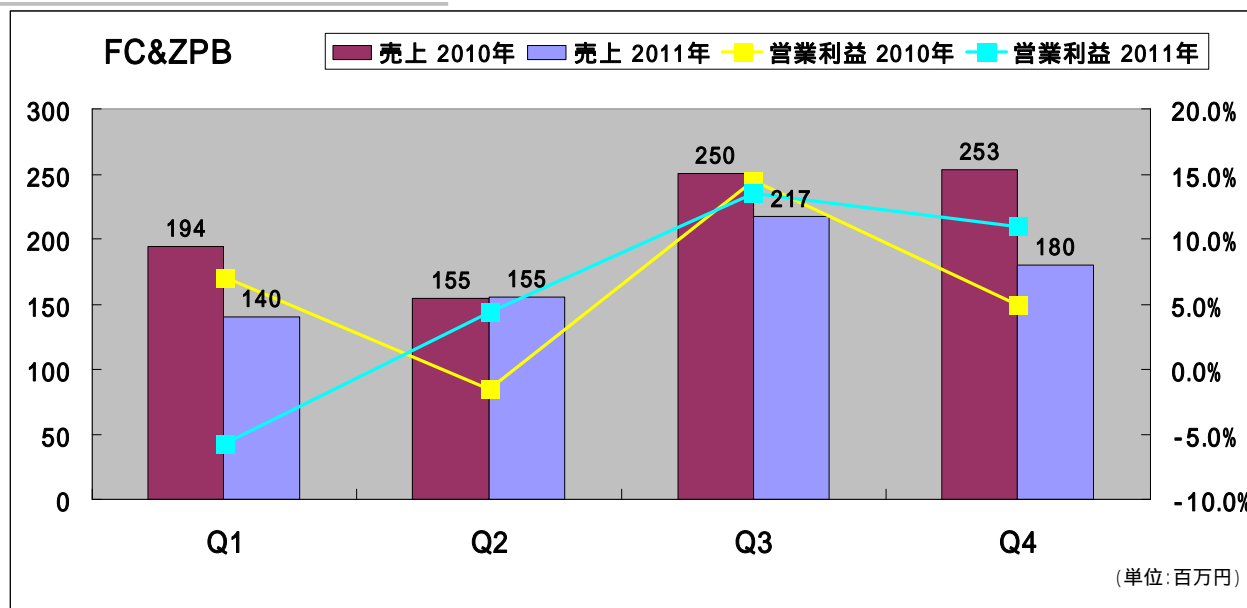
国内コンセプト別 売上・営業利益の前年比較 -ラ・ボエム & ゼスト-



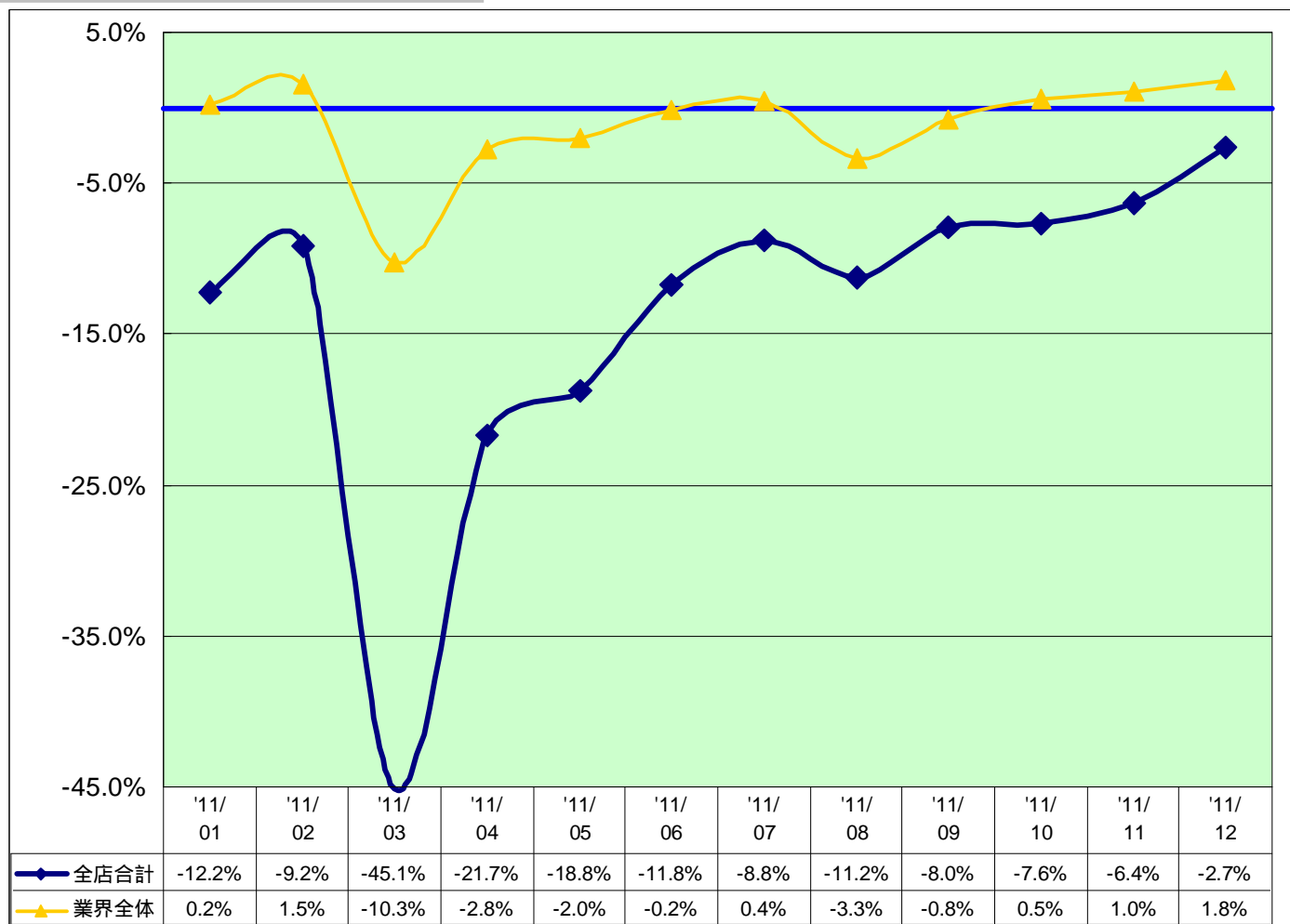
国内コンセプト別 売上・営業利益の前年比較 -モンスーン&権八-



国内コンセプト別 売上・営業利益の前年比較 -フードコロシアム&ディナーレストラン



月次売上高 前年同期比推移(国内)



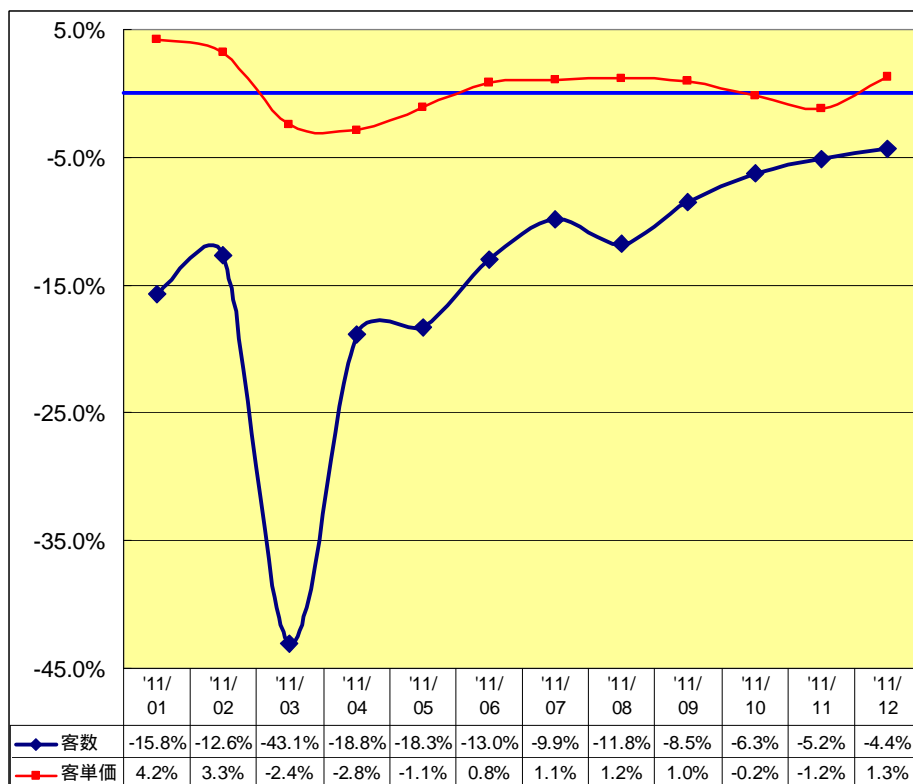
2011年12月期 通期 売上高前年比

全店	13.9%
既存店	13.1%

1. 飲食業全体比較の為、ウェディング部門は除いております
2. 飲食業全体は、日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」のデータを使用しております

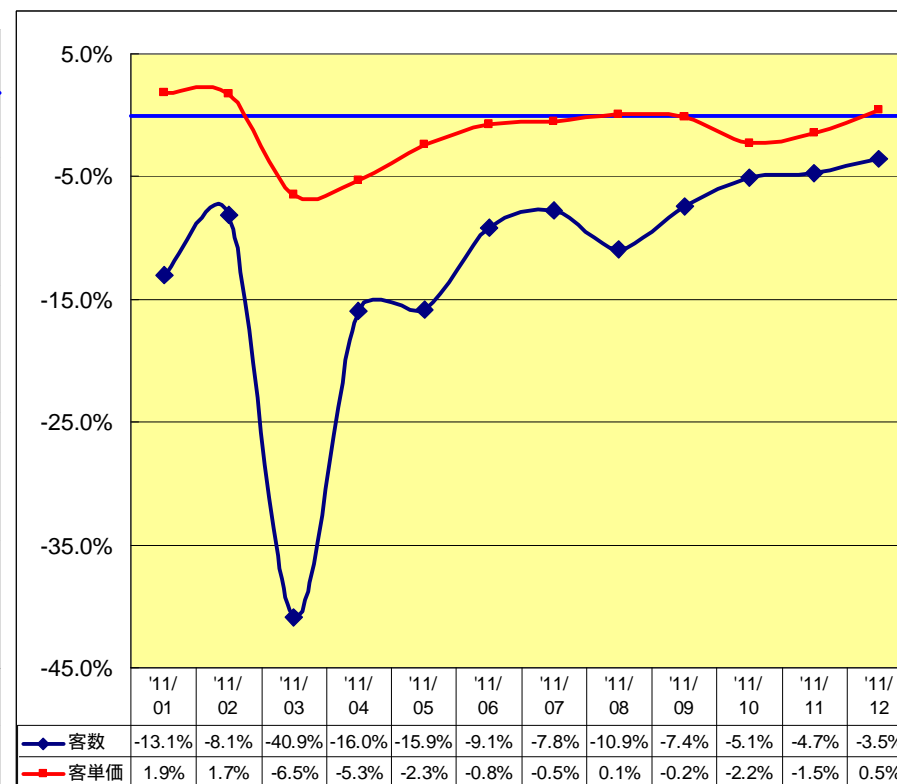
客数と客単価の前年同期比推移(国内)

全店



前年比:客数 15.3%・客単価 + 1.7%

既存店



前年比:客数 12.6%・客単価 0.8%

スイーツ及びウェディング部門は含まれておりません

損益計算書概要 - 連結子会社(米国)

2011年12月期 通期							
	ラ・ボエム	モンスーン	権八 ビバリーヒルズ	権八 トランス	本部 その他	合計	
売上高	1,556	2,764	1,001	2,558	-	7,880	100.0%
売上原価	1,506	2,763	1,430	2,605	-	8,304	105.4%
売上総利益	50	1	(429)	(47)	(0)	(425)	-5.4%
販管費	-	-	-	-	711	711	9.0%
営業利益	50	1	(429)	(47)	(711)	(1,136)	-14.4%

(単位:千ドル)

2010年12月期 通期							
	ラ・ボエム	モンスーン	権八 ビバリーヒルズ	権八 トランス	本部 その他	合計	
売上高	1,541	2,967	1,028	2,432	-	7,968	100.0%
売上原価	1,473	2,811	1,648	2,767	38	8,738	109.7%
売上総利益	67	156	(620)	(335)	(38)	(769)	-9.7%
販管費	-	-	-	-	671	671	8.4%
営業利益	67	156	(620)	(335)	(709)	(1,440)	-18.1%

(単位:千ドル)

上記数値は業績管理用の決算整理前の数値となっております。

2011年12月期 赤字店舗一覧

店舗名	2011年12月期 通期	
	売上	営業利益
タブローズ	189,530	-21,320
骨董通りラ・ポエム	81,795	-19,096
飯倉ゼスト	86,995	-15,259
グランベリーフードコロシウム	185,017	-10,426
天神権八	90,788	-9,849
六本木ラ・ポエム	41,623	-8,655
お台場ラ・ポエム	222,083	-8,606
港北ラ・ポエム	153,188	-8,580
南青山ラ・ポエム	46,365	-7,740
麻布十番モンスーン	100,928	-7,656
恵比寿ラ・ポエム	64,935	-7,319
代官山ラ・ポエム	74,407	-7,105
桜新町炭焼き権八	75,020	-6,961

店舗名	2011年12月期 通期	
	売上	営業利益
広尾ゼスト	13,799	-6,699
タブローズ・ラウンジ	76,226	-6,371
世田谷ゼスト	105,904	-4,877
天神TEPPAN権八	44,828	-4,681
G-Zone銀座SUSHI権八	62,768	-4,563
元町中華街ラ・ポエム	102,614	-4,261
西麻布ラ・ポエム	48,467	-3,956
西麻布モンスーン	47,444	-3,628
西麻布ゼスト	65,698	-3,138
ラクーア ZPバーガー	53,629	-1,115
お台場ゼスト	147,145	-1,110
権八 ビバリーヒルズ	77,848	-33,350
権八 都ホテルトランス	198,852	-3,660

「広尾ゼスト」は2011年4月11日をもちまして閉店致しました。

(単位:千円)



注意事項

本資料における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。

This document contains forward-looking statements which represent the Company's expectations or beliefs concerning future events. The Company's actual results could differ materially from those stated or implied in the forward-looking statements herein.



代表取締役社長 : 長谷川 耕造

取締役経営管理本部長 : 山下 優子

事務連絡者氏名 : 中尾 慎太郎

TEL:03-5469-3223